

リードがぶき

矢吹町全域当日配達
定価 1,300円 土・日曜・祝日休刊



今年2月のことぶき大学本講座講演時の戸倉蓉子さん

戸倉蓉子さん「いま最高にできる24人」のひびり

デザインのコンセプトを熱く語る

町出身の建築家、戸倉蓉子さん（ドムステデザイン代表、東京）は昨年、日本居住福祉学会から「居住福祉賞」を受賞するなど中央建築界で大活躍しているが、今度は講談社発行の「セオリービジネス」で活躍する人の「仕事の極意」に学ぶ」に特集が組まれ大きな反響を呼んでいる。

「いま最高にできる



「いま最高にできる24人」の一人に選ばれた戸倉さん

24人・面白いから、うまくいく」とサブタイトルの日本トップビジネスマン24人の中の一人として、A4判4ページ273行、4641文字に「慶応大学病院看護師から建築デザイナー分野に進んだきっかけ」、「イタリアでの勉強時代」、「一級建築士資格取得から日本一の女性だけの建築事務



取材時の戸倉さんと作品が載ったセオリービジネス

所を目指す決意」など想いを熱く語っている。中でも「何になりたいかではなく、何をしたいか、という思いを持ち続けること。そうすれば道は拓けると思うんです」とインタビューに明確に答え、記事中には「環境を変えることで気持ちも変わる。生活が豊かになる建築デザインを目指す。つまり人々が豊かに暮らせる環境を作りたい」と※コンセプトを語っている。カラーフォトも自身のアップ写真から最近の作品（設計）まで多数掲載されている。※コンセプトII「企画や作品の根底にある考え方や思想」戸倉さんを応援する

会「芙蓉会」の会田征彦会長（会田病院理事長）は、戸倉さんが居住福祉賞受賞時に「蓉子さんは、出生率が良くなれば社会の活性化につながるという点に着目するなど、考え方や、これまでやってきたことはとても斬新で素晴らしいものがあり、思うことを実践しているリーダーだと思っています。思うことはだれでも出来ませんが実践している人はごくごくわずかです。蓉子さんは人の心を明るくし、幸せにする役目を背負っているのです。今回の賞は同学会のトップ賞にもあたり、蓉子さんへ神様からのプレゼントだと思います。先鞭（せんべん）先駆者と同意語）している蓉子さんに医療関係者としても心から拍手を贈ります。このような素晴らしい人物が矢吹から誕生したことを誇りに感じます」と手放して祝福していた。

戸倉さんは現在、日本、イタリア、ベトナムなどビジネスで飛び回り、多忙を極めていますが、矢吹町の「ことぶき大学」には昨年に続いて今年も2月に「美しく生きるために」をテーマに講演し、大好評を得ている。